

低圧分野のスイッチングの状況（2017年10月時点）

参考資料 1

※総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会（第7回、平成30年1月31日開催）配付資料より抜粋

- 2017年10月末時点での新電力への契約先の切替え（スイッチング）件数は約7.8%（約485万件）、みなし小売電気事業者の自社内の契約の切替件数（規制→自由）は約5.2%（約325万件）であり、合わせて約13.0%（約810万件）となっている。
- スwitching率を地域別に見ると、東京（11.1%）や関西（10.4%）で10%を超えている一方、中国（1.9%）や北陸（2.4%）は2%程度となっている。

スイッチング（みなし→新電力）件数（10月末）

管内	他社切替実績 【単位：万件】	率 ※ 【単位：%】
北海道	22.2	8.1
東北	18.1	3.3
東京	254.1	11.1
中部	40.5	5.3
北陸	3.0	2.4
関西	104.3	10.4
中国	6.5	1.9
四国	5.8	3.0
九州	30.6	4.9
沖縄	-	-
全国	485.2	7.8

自社内契約切替（みなし規制→みなし自由）件数（10月末）

管内	自社内切替実績 【単位：万件】	率 ※ 【単位：%】
北海道	1.2	0.4
東北	4.2	0.8
東京	81.0	3.5
中部	116.3	15.3
北陸	2.0	1.6
関西	52.5	5.2
中国	41.6	11.9
四国	9.3	4.8
九州	16.7	2.7
沖縄	0.2	0.2
全国	325.0	5.2

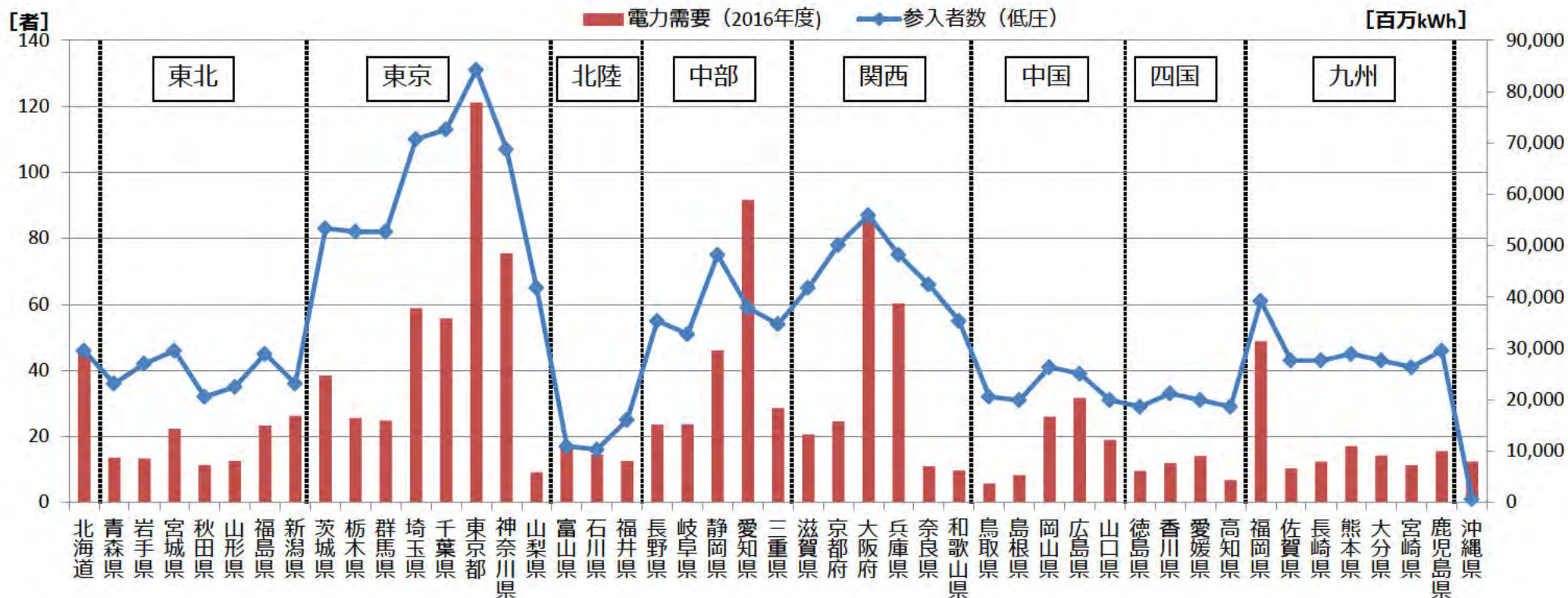
（出所）電力取引報

※ 2016年3月の一般家庭等の通常の契約口数（約6,253万件）を用いて試算。なお、2016年3月の低圧の総契約口数は約8,600万件だが、旧選択約款や公衆街路灯の契約などは、実態としてスイッチングが起きることが想定されにくく、母数から除外。また、同一需要家による供給事業者の変更や、みなし小売電気事業者の規制料金・自由料金メニュー間での契約種変更は、複数回行われた場合、その都度、スイッチングとしてカウントされることに留意。

都道府県別の小売電気事業参入者数（低圧）と電力需要

※総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会（第6回、平成29年12月20日開催）配付資料より抜粋

- 都道府県別の小売電気事業参入者数（低圧）は、東京が最も多く約130者に上る一方、最も少ない富山、石川でも20者弱が参入している（卸電力市場のない沖縄を除く）。
- 参入者数を大手電力（旧一般電気事業者）の供給エリアごとに比較すると、同一エリア内の参入者数に大きな差は見られない。



注) 原則一般送配電事業者の供給区域ごとに記載。なお都道府県内で複数の一般送配電事業者の供給区域が存在する場合には、供給区域が最も広い一般送配電事業者のエリアに分類
 大手電力(旧一般電気事業者)の供給区域となる都道府県に参入している他の大手電力は新電力に含む
 大手電力の100%子会社は、大手電力の供給区域となる都道府県においては新電力に含まない